

学科近況

沖縄高専創立10周年記念式典を9月に名護市民会館で執り行いました。奨学支援基金も設立され、式典で本年度の給付対象者が紹介されました。基金設立にあたり保護者の皆様から多くの御支援をいただきました。この場を借りて感謝いたします。シンガポールのテマセク・ポリテクニクから2名の学生がスリヨン研究室で、10月から2カ月半の研修を行っています。高専祭では5年生が伝統の映像作品を制作上映しました。彼らは高専生活5年間の集大成となる卒業研究に取り組んでいますが、高専祭で示した高い技術以上の力を発揮してくれることを期待しています。12月から企業説明会が本格的に始まり、4年生は進路をしっかりと決める時を迎えました。3年生は11月末に研修旅行で東京を訪れました。卒業生との懇談や企業見学を通して、進路を考える良い機会を持てたと思います。本科1年から5年、専攻科の状況は各学年の話題をお読み下さい。それでは、良いお年をお迎え下さい。

（学科長：角田 正豊）

各学年の話題（1年生）

1年目の高専生活も残り2カ月ほどになりました。高専祭を過ぎた頃より、学校と寮に十分慣れてきた学生から、徐々に気の緩みが生活の乱れとして目立ち始めます。年度末までに、しっかり将来の目標を見つめ直し、その目標を達成させるために、今自分で何をすべきかを考え、早めに実行に移して欲しいと思います。もし、新年度を迎えるまでに明確な目標（どんな小さなことでも構いません）を持つことができなければ、2年生での1年間は中弛みの期間となってしまう恐れがあります。このような心配もあり、早期キャリア教育の一環として、12月11日に行ったメディア情報工学科1～2年生合同学科別LHRでは、本科5年生3名と専攻科1年生1名に今後の高専・寮生活や進路選択に関するアドバイスをしてもらいました。1～2年生からは、とてもためになった、先輩方の経験談を聞くことができ良かった、進路について真剣に考えようと思う、など非常に前向きな意見・感想を聞くことができました。学校でもこのようなキャリア教育は継続して行っていますが、将来の進路については、ご家庭でも折に触れてお

話し頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

（1年学科担任：佐藤 尚）

各学年の話題（2年生）

第2学年は後3ヶ月で学科別の学級がはじまり、卒業後の夢に対する進学や就職についての準備する学年になります。沖縄高専に入学する前にそれぞれの学生が考えた将来の夢を少しでも、必要な情報を与えるため、1学年と2学年の合同LHRを行いました。キャリア教育の一環としての今後の高専生活・進学などに関する専攻科生および5年生からアドバイスをしてもらいました。就職する人も進学する人も、それぞれ考えがあるが全体的に良い勉強になりました。次はLHRの学生の感想です。

学生1：今日は、進学を考える自分にとって進学された先輩の話聞いたのが個人的によかったです。先輩の勉強の仕方やモチベーションの上げ方など参考になる話も聞いたし、先輩が入学進学も決めた理由を聞いて自分の意思もより強いものになりました。就職にしても進学にしても自分が早くから努力を始まる事が必要でそのた

めに早く何か自分の本当にしたい事を極めるように
と思います。

学生2：今日の先輩方の話とても勉強になりました。
興味を多くもって、低くてもいいから目標を持つ、
自分からまず行動を起こす、などいい話が聞けました。
進学する先輩方は途中で目標を進学に変えたらし
かったのが、少し進学も視野に入れようとおもいま
す。

これからも学生の教育に頑張りますので、ご支援
お願いいたします。

(2年学科担任：バイティガ ザカリ)

各学年の話題 (3年生)

3年生にとって大きな行事の1つ、研修旅行が
11月27日(水)から30日(土)までの3泊4
日の日程で実施されました。

11月27日(水)は、那覇空港集合→那覇空港
発→羽田空港着→浅草→東京スカイツリー/第1
展望台→ホテル着、という日程でした。羽田空港
からホテルまでバスの車窓から東京見物をしなが
ら移動しました。東京の名所浅草寺と東京スカイ
ツリーの観光ができ、学生達が大満足の様子でし
た。ホテル到着した後の夕食会では、沖縄高専メ
ディア情報工学科の卒業生、計8名(社会人4名、
大学生4名)が参加してくれました。食事しなが
ら東京での勉強や仕事などについて話しをしてく
れました。大変有意義な夕食会でした。



写真1：東京スカイツリーにて



写真2：パールホテル両国での夕食会に駆けつけた8名の卒業生と3年生

11月28日(木)は自主研修日ということで、
各グループが計画した旅程をそれぞれ自由に都内
の様々な場所を巡りました。

11月29日(金)の午前には「日本科学未来館」
で情報技術・生命/医学・宇宙/深海・ロボットな
どに関する様々な最先端科学について、見たり聞
いたり触れたりすることができました。午後は、
お場台を自由散策したあと、企業視察研修として
都内のテレビ局を見学しました。沖縄高専メ
ディア情報工学科の卒業生の案内により、とても貴重
な見学会となりました。



写真3：都内のテレビ局にて

11月30日(土)は、JAL機体整備工場を見学し
ました。普段見ることのできない巨大な航空機や
その保守パーツなどはとても興味深く、様々な物
と機械、そして多くの人々が航空機に関わってい
るということを勉強することができ、良い経験に
なったと思います。

今回の研修旅行の経験で後々、県外でのインタ
ーンシップや就職活動を行う人、あるいは県外大
学の編入試験を受ける人に対して役に立ちます。
自主研修では自分たちで考えたルートを様々な交

通機関を利用して移動するという経験をした人ならば、大都市でも焦らずスムーズに移動することができます。これらの経験を将来活かしてもらいたいです。



写真 4：JAL 羽田整備工場にて
(3年担任：タンスリヤボン スリヨン)

各学年の話題（4年生）

学級の状況について

後期が始まると高専祭の準備に忙しくなりました。クラスの企画「推理ゲーム」に携わるだけでなく、高専祭全体を支える実行委員や広報、装飾等の役割を担った学生も多くいました。クラスの企画では「事件」の映像を上映する会場の雰囲気作りも含めて、学生の個性が発揮されました。「推理ゲーム」にはたくさんの在校生、クラスのご家族、一般の方に来ていただきました。来年の高専祭でも楽しい企画になるとと思いますので、是非、ご家族でご参加ください。



写真 5：高専祭クラス企画の推理ゲーム「謎解きはディナーの前に」上映会場の一角。探偵事務所のイメージで。

学生の健康、生活面では気になることがありま

す。遅刻や欠席の数が増えている学生が複数いることです。体調不良が続いている一人暮らしの学生もいますので、ご家庭でのフォローをよろしくお願いします。

インターンシップについて

夏休み期間中に全学生がインターンシップを無事に終え、10月中旬にクラスでインターンシップの報告会を開きました。それぞれの学生がインターンシップで経験したことを発表し、全員で共有しました。受入企業・機関に大変お世話になりましたことを学生共々感謝しています。



写真 6：インターンシップ報告会の様子。

進路の活動について

就職活動が12月より本格化し、「行動」する時期になりました。学内でも県内外の企業の方が来られて説明会が放課後に開かれています。様々な業種、職種の話を直接聞くことで「自分が何をやりたいのか」がはっきりしてきますので、学生には、選り好みしないで企業説明会に参加するように指導しています。さらに、2月の学年末試験終了後から3月の春休み期間が最も大切な時期です。求人票やパンフレットを見て企業研究、志望理由を書く、適性試験対策等は学校の教室や図書館でもできますので、できれば登校して活動を進めて欲しいと思います。また、推薦で採用選考を受ける場合は、選考中は併願できない、辞退ができない等の制約があり、これらを保護者にも承諾いただく必要があります。

進学については、本校専攻科推薦選抜が平成26年4月中旬に願書提出で、その後、8月下旬頃までが受験のシーズンとなります。進学後、学生自

身が価値のある時間を過ごすために、進学先や志望理由をよく考えてください。春休みは受験勉強のラストチャンスですので、受験先に応じた対策をしてほしいと思います。

(4年担任：太田 佐栄子)

各学年の話題（5年生）

5年生は卒業まで残り3ヶ月あまりとなり、残り少ない高専生活を送っています。11月の高専祭では5年メディア恒例の完成度の高い映像作品で多くの観客を集め、賞を受賞しました。

また、5年生は卒業後の進路を決めることが一番大切な学年です。進路希望は卒業予定者40名に対し、就職希望29名(72.5%)、進学希望11名(27.5%)です。12月13日現在の決定状況は就職希望者は全員進路が決まっており、進学希望も残り1名のみとなっています。ここ2,3年、採用状況が徐々に上向いていることもあり、今年は2期生以来4年ぶりに就職決定率100%となりました

5年生にはこれからは卒業研究に打ち込み、悔いの無い高専生活を送って欲しいと思います。

(5年担任：正木 忠勝)

専攻科の話題（情報工学コース）

10月20日・21日に本校 JABEE 中間審査の現地審査が行われました。JABEE については高専だより No. 18 をご参照ください。大学4年間相等ということで、本科4・5年と専攻科を対象に審査が行われました。各審査基準をクリアすれば、世界標準レベルの教育が行われていると認証されます。すでに2011年2月に本校の認証は行われていて、今回はその「補充」審査となります。最終結果は来年春に公表されますが、現地審査段階では、各審査基準をクリアしていた旨、ご報告いたします。

改めて記しますが、専攻科では、本科の卒業研究に当たる、特別研究を学校生活の中心に据えてください。特別研究で取り組んだ内容は、学協会の研究会あるいは全国大会において対外発表を行ってください。この対外発表が、本校の JABEE 修

了認定基準の一つとなっています。

専攻科の2年間はあっという間に終わります。早め早めの準備・取り組みを心がけてください。皆さんの自立した取り組みを期待します。

(副コース長：姉崎隆)

その他学科内の話題

■資格試験

○基本情報技術者試験

松井 くるみ さん(5年)、國吉 和真 さん(4年)、川満 大輝 さん(4年)、砂川 航輝 さん(4年)、新城 寛之 さん(4年)。

■受賞

○高専プログラミングコンテスト(10月13・14日、北海道) ●課題部門特別賞「あいらんどっ - あんしん・あんぜんをいつもいっしょに-」照屋 のぞみ さん・松井 くるみ さん・宮里 和裕 さん・仲嶺 真豪 さん(すべて5年) ●自由部門特別賞

「Any Ware -Hard, Soft に続く第3のware-」日熊 悠太 さん(5年)・照屋 大地 さん(4年)・當間 環 さん(1年)

○パソコン甲子園(11月9・10日、福島県) 競技部門第5位(32チーム中) チーム「Cmiz56」當眞 ジェyson 翔 さん(3年)・清水 梨玖 さん(1年)

●アジア太平洋情報オリンピック(5月11日) 銅メダル(国内成績3位、アジア地域49位) 當眞 ジェyson 翔 さん(3年)

編集後記

皆様、よい新年をお迎え下さい。学科だよりに関するご意見ご要望等がございましたら、下記連絡先までお知らせください。

編集担当者連絡先：

〒905-2192 沖縄県名護市宇辺野古 905

沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科 西村篤

TEL 0980-55-4003 (代) FAX 0980-55-4012 (代)